



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第 21 号 平成 28 年 (2016 年) 12 月 1 日発行



もち米を収穫する綾木小学校児童のみなさん

主な内容

- 審議された議案等 2 ~ 4
- 一般質問 5 ~ 14
- 委員会報告 15 ~ 16
- 12月定例会の日程・編集後記 16

平成28年第3回（7月）美祢市議会臨時会

会期 7月29日（1日間）

第3回美祢市議会臨時会は、会期を7月29日（金）の1日間として開会され、平成28年度一般会計補正予算について、教育長の任命について、教育委員会委員の任命について、及び監査委員の選任についての補正予算議案1件、人事案件3件が上程されました。

このうち、人事案件については、本会議にお

ける即決議案として質疑、討論・採決を行い、全会一致で同意しました。

また、補正予算については所管の常任委員会に付託のうえ集中審査を行い、本会議にて討論・採決の結果、全会一致で可決し、臨時会を閉会しました。

●●● 審議された議案等 ●●●

●●● 補正予算について ●●●

○議案第63号 平成28年度美祢市一般会計補正予算（第3号） **原案可決**

今年6月下旬の梅雨前線豪雨により被災した農業用・土木施設の災害復旧事業経費や市街地の計画的な土地利用の促進を図るための土地・建物等購入にかかる費用など、総額で約1億2,759万円を追加補正するものです。

●●● 人事案件について ●●●

○議案第64号 美祢市教育長の任命について **原案同意**

美祢市教育長に「岡崎 堅次」氏を任命するため、市議会の同意を求められたものです。

任期は、平成28年7月29日から3年間です。

○議案第65号 美祢市教育委員会委員の任命について **原案同意**

美祢市教育委員会委員に「前田 耕次」氏、「金子 明美」氏を任命するため、市議会に同意を求められたものです。

任期は、前田氏が平成28年7月29日から平成30年5月21日まで、金子氏は平成28年7月29日から4年間です。

○議案第66号 美祢市監査委員の選任について **原案同意**

美祢市監査委員に「重村 暢之」氏、「竹岡 昌治」氏を選任するため、市議会に同意を求められたものです。

任期は、重村氏が平成28年7月29日から4年間、竹岡氏は平成28年7月29日から平成32年4月26日までです。

平成28年第3回（9月）美祢市議会定例会

会期 9月5日～10月18日（44日間）

第3回美祢市議会定例会は9月5日（月）に開会し、執行部から平成27年度企業会計決算の認定（水道事業、公共下水道事業、病院等事業）について、平成28年度一般会計・特別会計補正予算について、また、条例の制定・一部改正、及び人事案件など、合わせて報告2件、議案18件が上程されました。

このうち、人権擁護委員の推薦にかかる人事

案件1件については、本会議初日の即決議案として質疑、及び討論・採決を行い、全会一致で同意しました。

そのほかの議案は、所管の常任委員会（9月20日教育経済委員会、21日総務民生委員会、23日予算決算委員会）に付託され、集中審査を行い、26日（月）に開かれた本会議において、議案に対する討論・採決の結果、いずれも原案の

とおり可決しました。

また、同日執行部から報告3件及び平成27年度一般会計・特別会計等の決算認定に係る議案10件が上程されたことから、それらの審議を行うため、会期を10月18日(火)まで22日間延長しました。

平成27年度各会計決算に関する議案については、所管する各常任委員会(9月27日～30日)

に付託して集中審査を行い、30日には市長出席のもと一般会計決算に対する総括質疑を行いました。

各議案については、10月18日(火)定例会最終日の本会議において、討論・採決が行われ、いずれも原案のとおり認定し、定例会を閉会しました。

● ● ● 審議された議案等 ● ● ●

● ● ● 補正予算について ● ● ●

○議案第72号 平成28年度美祢市一般会計補正予算(第4号) **原案可決**

障がい者の自立支援医療給付システム改修に伴う経費、Mine秋吉台ジオパークセンターの開所及び運営にかかる経費など、総額で約8,406万円を追加補正するものです。

○議案第73号 平成28年度美祢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) **原案可決**

同事業の経営戦略を策定するための経費として約199万円を追加補正し、一般会計から同額を繰入れるものです。

○議案第74号 平成28年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) **原案可決**

高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定に業務着手するための経費、平成27年度事業精算の結果により、総額で約9,058万円を追加補正するものです。

○議案第75号 平成28年度美祢市公共下水道事業会計補正予算(第1号) **原案可決**

同事業の経営戦略を策定するための経費として約199万円を追加補正し、一般会計から経費の一部を繰入れるものです。

○議案第76号 平成28年度美祢市病院等事業会計補正予算(第1号) **原案可決**

美祢市立病院における訪問診療実施に伴う経費について補正を行うものです。

● ● ● 条例の改正について ● ● ●

○議案第77号 美祢市立小学校設置条例の一部改正について **原案可決**

今年度末をもって、東厚、川東とうこう かわひがし小学校を廃止し、厚保小学校に統合するため、条例の一部を改正するものです。

○議案第78号 Mine秋吉台ジオパークセンターの設置及び管理に関する条例の制定について **原案可決**

このたび、ジオパーク活動等の活性化に資する施設として、秋吉台上に同センターを設置することに伴い、新たに条例を制定するものです。

○議案第79号 美祢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について **原案可決**

関係省令の一部改正に伴い、本条例について所要の改正を行うものです。

○議案第80号 美祢市介護保険条例の一部改正について **原案可決**

介護保険料について、国民健康保険及び後期高齢者医療制度に準じた減免要件とするため、所要の改正を行うものです。

○**議案第81号** 美祢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び美祢市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について **原案可決(賛成14・反対1)**

国の関係法令の施行等により、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、本条例について所要の改正を行うものです。

○**議案第82号** 美祢市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について **原案可決**

介護保険法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、条例を一部改正するものです。

その他議案について

○**議案第83号** 美祢市過疎地域自立促進計画の一部変更について **原案可決**

財政的に有利な起債を行うため、事業計画の一部を変更するものです。

人事案件について

○**議案第84号** 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて **原案同意**

平成28年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員に「篠田 修二」氏、「岡崎 政好」氏、「松原 賢治」氏を再任候補に、また「上利 和子」氏の後任候補として「松本 孝志」氏を推薦することについて、市議会に意見を求められたものです。

報告について

○**報告第11号** 平成27年度の決算に係る健全化判断比率について

・実質赤字比率(一般会計及び一部の特別会計(普通会計)の赤字比率)及び連結実質赤字比率(市全会計の赤字比率)は、黒字のため該当

しません。

- ・実質公債費比率(市の借入金の返済額などの財政負担比率)は、前年度15.1%から0.4ポイント改善し、早期健全化基準の25%をよい方向に下回る14.7%となりました。
- ・将来負担比率(実質的な将来負担額の比率)は、前年度78.2%から20.2ポイント改善し、早期健全化基準の350%を大きく下回る58%になりました。

○**報告第12号** 公営企業の平成27年度の決算に係る資金不足比率について

公営企業における資金不足は発生していません。

剰余金の処分について

○**議案第67号** 平成27年度美祢市水道事業剰余金の処分について **原案可決**

当年度未処分利益剰余金約1億6,753万円のうち、1億6,000万円を減債積立金、建設改良積立金に積み立て、残余を繰越利益剰余金とするものです。

○**議案第69号** 平成27年度美祢市公共下水道事業剰余金の処分について **原案可決**

当年度未処分利益剰余金約4億8,457万円のうち、2億6,153万円を資本金に組み入れ、残余を繰越利益剰余金とするものです。

決算認定について

○**議案第68号** 平成27年度美祢市水道事業会計決算の認定について **原案認定**

収益的収支は下記のとおりです。

上水道事業	収入 2億8,673万9,573円 支出 2億4,840万5,402円
簡易水道事業	収入 5億159万5,113円 支出 2億4,840万5,402円

当年度純利益は7,491万7,614円となりました。

- 議案第70号** 平成27年度美祢市公共下水道事業会計決算の認定について **原案認定**
収益的収支は下記のとおりです。

公共下水道事業	収入 9億 4,392万 2,618円
	支出 5億 9,138万 2,607円

当年度純利益は3億4,865万8,254円となりました。

- 議案第71号** 平成27年度美祢市病院等事業会計決算の認定について **原案認定**
収益的収支は下記のとおりです。

病院事業	収入 33億 4,085万 5,981円
	支出 34億 7,443万 9,014円

入院68,460人/外来76,406人

美祢市立病院は当年度純損失1億7,180万4,963円、美祢市立美東病院は当年度純利益4,529万1,594円となりました。

介護老人保健施設事業 (グリーンヒル美祢)	収入 3億 6,918万 3,958円
	支出 3億 5,987万 6,169円

入所25,051人

当年度純利益は913万3,549万円となりました。

訪問看護事業	収入 4,203万 2,904円
	支出 4,377万 2,891円

利用者4,538人

当年度純損失は173万9,987円となりました。

- 議案第85号** 平成27年度美祢市一般会計決算の認定について **原案認定**
歳入総額が約171億6,812万円、歳出総額は約162億722万円となりました。

- 議案第86号** 平成27年度美祢市国民健康保険事業特別会計決算の認定について **原案認定(賛成14、反対1)**

歳入総額が約42億4,128万円、歳出総額は約39億5,677万円となりました。

- 議案第87号** 平成27年度美祢市観光事業

- 特別会計決算の認定について **原案認定**

歳入総額が約6億9,789万円、歳出総額は約5億8,649万円で、差引額は約1億1,141万円となりました。なお、前年度繰上充用額を除いた単年度収支は、1億9,257万円の黒字となっています。

- 議案第88号** 平成27年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について **原案認定**
歳入・歳出総額ともに同額の2,330万3,000円となりました。

- 議案第89号** 平成27年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計決算の認定について **原案認定**

歳入総額約140万円、歳出総額約2,893万円で、約2,753万円の歳入不足が生じています。

- 議案第90号** 平成27年度美祢市農業集落排水事業特別会計決算の認定について **原案認定**

歳入・歳出総額ともに同額の2億1,198万円となりました。

- 議案第91号** 平成27年度美祢市介護保険事業特別会計決算の認定について **原案認定(賛成14、反対1)**

歳入総額約32億9,026万円、歳出総額約32億263万円で、差引額は約8,763万円となりました。

- 議案第92号** 平成27年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について **原案認定(賛成14、反対1)**

歳入総額約4億566万円、歳出総額約4億419万円で、差引額は約147万円となりました。

- 議案第93号** 平成27年度美祢市萩市競艇組合競艇事業一般会計決算の認定について **原案認定**

- 議案第94号** 平成27年度美祢市萩市競艇組合競艇事業特別会計決算の認定について **原案認定**



(無所属)

すぎやま たけし
杉山 武志 議員

1

別府・嘉万小学校の統合 (秋芳桂花小学校)について

問 嘉万小学校は耐震構造ではなく老朽化が進んでいますが、別府小学校は耐震構造になっています。したがって別府小学校の体育館を建て替えば、新校舎等の建設にかかる10億円近くもの費用は必要なかったと思います。

新校舎建設の数年後、地域の児童数の減少により、さらに学校統合が進み、校舎が必要なくなるのではないかと懸念していますが、今後の統合計画について、お考えをお伺いします。

答 秋芳桂花小学校の地域の人口は横ばい状況であり、何十年かは継続して開校できると考えています。

問 新聞紙上等で公募されている秋芳桂花小学校の校歌、校章の決定方法についてお尋ねします。

答 秋芳桂花小学校の校歌・校章は、広く一般公募することとし、ホームページ等で周知を行っています。

作品については、選定委員会が3作品程度を選定し、協議会において最終選考をいたします。

問 秋芳中学校の校歌を審査する際、作者が選考委員会の中に含まれていました。審査の公平性について明確にお答えください。

答 秋芳中学校の校歌は一般公募34作品の中から選考されました。作品の選考にあたっては、選考委員会の公平を期すため、作者名を伏せて行っています。

確かに選考委員会の委員に作者が含まれていましたが、自分の作品を選考することに便宜を図ったとは考えていません。

2

秋吉台家族旅行村の運営について

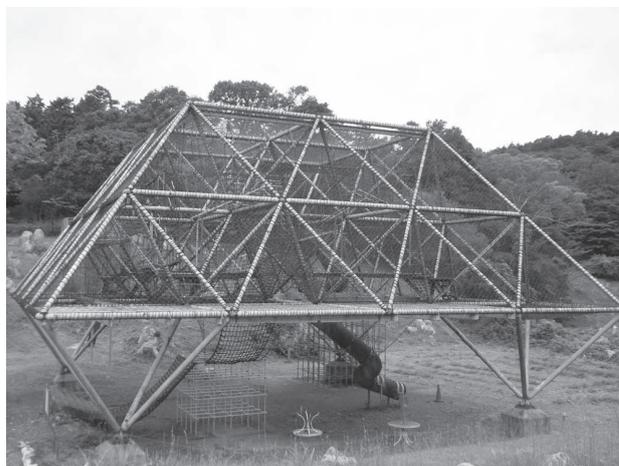
問 秋吉台家族旅行村の宿泊施設や遊具等の改修・増設、もしくは施設開発などについて、どのようにお考えかお尋ねします。

答 当施設は昭和61年の開村以来約30年が経過し、村内にあるジャブジャブ池や大型ジャングルジム等の遊具施設が使用できず、宿泊家族や市内子育て世帯が利用できるレクリエーション施設がない状況に至っています。

健康志向などで全国的にサイクルスポーツの人気が高まる中、山口県はサイクル県として自転車総合イベントを開催され、市内や市外で多数大会が開催されるようになり、当施設においてもサイクリングステーションとしての機能など多様な対応が求められているようになってまいりました。

また、市民にとって当施設は、観光施設、アウトドアの宿泊施設というイメージが強いため、秋吉台を中心とした市民の余暇、レジャー、子育ての場として家族旅行村の広場等を自由に使用、その他、魅力的な施設やイベント等があることを広く市民に周知し、愛される総合公園を目指す必要があります。

よって、家族旅行村の再生、活性化を実現させるため、プロポーザル方式も視野に入れ、早急に基本計画の策定と基本設計の実施を担当部課に指示したところです。



老朽化のため使用できない大型ジャングルジム
(秋吉台家族旅行村内)



(純政会)

あきえだ ひでとし
秋枝 秀稔 議員

1

美東地域保育園の施設整備について

問

美祢市には9カ所の公立保育園があります。

昭和49年～52年までの間に建築された美東地域の保育園は設備も園舎も古く、特に大田保育園では通園の際、交通事故の恐れがあります。また、真長田保育園では階段を登って行くといった場所にあることから、早急な建て替えの必要があると思います。

このことについて、市長のお考えをお伺いします。

答

美東地域の保育園は、いずれも建築から40年程度が経過しており、老朽化や災害対策などの保育環境の整備が喫緊の課題です。

現在、協議を進めている赤郷・綾木地区の実情も踏まえ、地域の皆様の御理解をいただきながら、未来に向けた美東地域保育園の適正な配置・規模の精査を行い、計画的かつ着実に建て替え事業を進めたいと考えています。



一般道に隣接する大田保育園

2

美祢市船窪山斎場(火葬場)と斎場(告別式場)の整備について

問

船窪山火葬場は「いま火葬は可能か」と問われるほど故障や修理が多く、また古色蒼然とした建物は最後のお別れの寂しさがますます募ってきます。

修理を繰り返すのも限界との思いから、火葬場及び告別式場を兼ねた斎場の建設について、お考えをお聞かせください。

答

船窪山火葬場は、昭和48年に稼働を開始し、現在は老朽化のため修理を繰り返しながら稼働しています。

また、市内の葬儀場はすべて旧美祢地域にあり、美東・秋芳地域の方には利用しにくい状況と認識しています。

今後、公共施設のあり方検討委員会等で対応を早急に検討したいと考えています。



園舎まで坂道が続く真長田保育園



(公明党)

 おか やま
 岡山 たかし
 隆 議員

1 美祢市学校教育の進展に対応する環境整備に関して

問 2020年度から英語が全国の小学校高学年で正式教科となります。

文部科学省中央教育審議会の学習指導要領では、英語教育におけるコミュニケーション能力の育成を前面に押し出しています。

今年度から、大阪府内の公立小学校354校で、府が独自に開発した英語学習6カ年プログラム「ドリーム」を学習することによって、児童が驚くほど速く英語に慣れ親しんでいます。

本市においては、英語教育が正式教科に導入されることへの対応をどのようにお考えかお尋ねします。

答 社会のグローバル化が急速に進む中、小学校では5・6年生に英語科、3・4年生には外国語活動が平成32年度から導入されます。

本市では現在、英語の4技能と外国語を用いたコミュニケーション能力の向上として、年20回のイングリッシュクラブなどを行い、ALTなどが指導にあたっています。また、英語検定料補助事業として、小学校5・6年生と中学校3年生を対象に検定料の全額補助を行っています。

次期学習指導要領の改訂に向け、英語に対する興味、関心を一層高め、グローバル感覚と外国語のコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目指し、学校との連携による不断の授業改善に今後も努めます。

2 台湾-山口宇部空港チャーター便就航に伴う観光戦略について

問 県は台湾を訪日観光誘客の重点地域に位置づけ、台湾の航空会社の中華航空(チャイナエアライン)が、山口宇部空港と台湾を結ぶ初の連続チャーター便を運航すると発表しました。今回の決定により、台湾とのチャーター便数は過去最高となります。

Mine秋吉台ジオパークの魅力を発信し、秋吉台や秋芳洞、また伊佐セメント工場露天掘りへの誘客など、ビジネスチャンスを獲得するためにも本市が台湾に持つ美祢市台北観光・交流事務所の存在は欠かせません。

しかし、市長はこの事務所を閉鎖すると言われており、これは県の方針に対して背を向けることになると思いますが、どのようにお考えかお尋ねします。

答 今年4月、村岡知事のトップセールスで中華航空本社を訪問され、今回のチャーター便の就航に結びつきました。

チャーター便は、今年9月から12月までの全7便が全て満席で利用される1,071人中約1,000人が秋吉台、秋芳洞を訪問される予定であり、これは昨年度の台湾観光客3,600人の約28%を占めています。

台湾の事務所については、撤退を含めた見直しを図ると言ってきましたが、まずは市民の皆様にも事務所の活動内容を理解していただき、県とのタイアップも含めて展開していきたいと思っております。



山口宇部空港-台北(台湾)を結ぶ初の連続チャーター便(中華航空)



(政和会)

たけおか まさはる
竹岡 昌治 議員

1 台北事務所の存続と利活用について

問 市長は就任後、台北駐福岡経済文化弁事処長を表敬訪問されていますが、自身の選挙公約である台北観光・交流事務所の撤退について打診をされたのでしょうか。6月定例会でも尋ねましたが、お答えいただいておりますので、もう一度お伺いします。

答 表敬訪問では、美祢市と台湾との国際交流の発展、また台湾南^{なんとうけん}投^{とう}県^{けん}及び水^{すい}里^り郷^{きょう}と確認書を締結している友好交流協定の継承などについて、会談しましたが、台北事務所の撤退についてはお話ししていません。

問 市長は選挙期間中、台北事務所は税金の無駄遣いだと言われていますが、事務所の今後の方針について、どのようにお考えかお伺いします。

答 来年度予算で、国のインバウンド政策、台湾の定期便就航に向けた県の取り組み、また山口市・宇部市等との観光広域連携などに全面的に協力し、積極的に取り組みます。

その基点として、台北事務所を有効に活用したいと考えています。

問 台北事務所の設置目的について、市長のご認識をお尋ねします。

答 開所から4年余りで道半ばということも理解していますが、観光誘客数の目標値を下回っているため、市民にご理解いただけないと考えていました。

しかし、観光客の数字が全てではなく、教育、文化面の交流や、産業面においても現地で活動を行うなど、少しずつ成果が上がっています。

多種にわたる関わりと成果がこの台北事務所を通じて行われている事実を情報発信し、市民

が真に必要と感じられる事務所となるよう、改革・見直しを図り、効果を発揮したいと考えています。

問 市長は、県中部エリアの中核連携都市構想において、インバウンド対策のために台北事務所を構想に組み入れ、事務所を利用する他市等に費用負担を求められたと聞いています。

他市に負担を求めるのではなく事務所の利便性を共有することに政治的な意義があると思いますが、お考えをお尋ねします。

答 本構想は山口市・宇部市を中心都市とし、人口減少などの共通課題に向けた政策協定を必要とします。この大きな柱の一つが活力ある地域社会の構築であり、そのためには連携する各都市の強みを持ち寄り、魅力を最大限に生かすことが重要です。

本市は、魅力ある観光資源やジオパークの活用、また、宇部空港等の交通拠点と連携した東アジア中心のインバウンド対策として、さらなる台北事務所の活用方法を検討する必要があります。

台北事務所は県や他市と連携させたいと考えていますが、他自治体から費用負担を求めることは考えていません。

問 市長は選挙公約をかなり気になされているようですが、台北事務所の重要性については私と同じ認識をお持ちのようです。

これまでの答弁から、台北事務所は撤退ではなく、存続を前提に行動されると受け止めましたが、いかがでしょうか。

答 公約は守るべきものですが、台北事務所については、その公約に反した方針で進めています。

今後、事務所存続のあり方や活用方法等について見直しを図る努力を行いながら、それを市民にお伝えし、理解を求めてまいりたいと思います。



(無所属)
すえ なが よし み
末永 義美 議員

1 移動市長室について

問 市長は、市民の声を市政に反映させていくという改革姿勢を体現されたと思われませんが、市民の期待にどう応えていくのか、お伺いします。

答 市民と市役所の距離を縮めることが必要であり、市民の生の声に率直に耳を傾け、その声を市政に反映させていくことが私の使命であると考えています。

問 移動市長室の仕組みがはつきりせず、市民の要望と市長の回答等が記録されていないければ、行政の透明性や情報公開の徹底は担保されていないと考えます。市長のお考えをお伺いします。

答 これまでいただいた意見や要望、提言等の内容については、全てを公開できるほど記録を残していませんでした。

今後は記録を残し、情報を共有しながら必要に応じて市民の声と市政課題への改善策を指示してまいります。

2 台湾の事務所問題について

問 台湾の事務所撤退や閉鎖を1つの公約として市長に当選されましたが、存続へとお考えを一変させたのは、どのような理由からかお伺いします。

答 9月6日に県幹部と会談を行い、市政と観光の発展を考え、その中で最終的に決断をいたしました。

市民の皆さまとの公約を反故にしてしまったと、痛切に反省しています。

問 事務所経費の無駄な財源を、優先すべき市政課題に充てるとした公約もありましたが、市民への説明責任についてお伺いします。

答 なぜ存続するのか、台湾の事務所の活動や意義と公約違反の説明責任をしっかりと果たしてまいります。

3 美祢さくら公園の整備について

問 今、全国の公園や学校の校庭を芝生に変える動きが増えています。

子どもたちが緑に守られ、安心して遊べる環境づくりとして、大型遊具周辺の芝生化を提案したいと思いますが、お考えをお伺いします。

答 公園の整備は、利用者のニーズや安全性、その維持管理費に係る財源の確保等を十分考慮のうえ、検討してまいります。

問 子どもの安全確保を考え、駐車場と土手の間にフェンスを設置するようご検討いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

答 遊びの広場(美祢さくら公園遊具設置場所)に併設された駐車場にフェンスを設置することは、駐車場と、せせらぎ水路との間に高低差があるため、早期にフェンス等による転落防止対策を実施するよう考えています。



このたび美祢さくら公園「遊びの広場」駐車場外周に転落防止等の安全対策のため設置された柵



(政和会)
やす ども のり あき
安富 法明 議員

1 観光振興について

問 合併から9年目を迎えています。観光事業特別会計が平成27年度の決算で累積赤字を解消し利益がでる状況になりました。

このことにより、今後の観光事業に対する取り組みが変わってくると考えますが、どのような方針で運営されるのか、お伺いします。

答 平成27年度から31年度までの観光振興計画で約7億円の黒字を予想しています。これまで、支出を抑えていましたが、必要な事業については積極的に投資を行うこととし、老朽化した観光施設の改修、営業力の強化、広告宣伝の充実、人材育成を行っていく計画です。

特に、施設改修には多額の資金を必要とすることから、借入による資金調達を行う一方、平成27年度から生まれた黒字資金を計画的に基金に積み立て、将来的な大規模改修に備えてまいります。

なお、この5カ年計画では秋芳洞入洞者数60万人の復活を目指しています。

問 観光事業特別会計過去8年間の経営内容について、仮に西岡市長が当事者であったなら、どのような経営手法をとられたでしょうか、お伺いします。

答 私は8年前は議員の立場でしたので、議会から提言も行ってきました。

黒字化に向けた執行部の努力により、これまで進めてこられた内容は、最善の道であったと思っています。仮に8年前の市長が私であったとしても同じ政策をとっていたと思います。

問 市長は、家族旅行村のリニューアル改修について基本設計を発注すると言われてい

ます。今まで議会には何も示されていませんが、具体的な考えをお持ちか、お伺いします。

答 家族旅行村を視察した結果、改修に向けた検討を始めたいと思っており、有利な財源獲得を目指しています。

現在、サイクル県山口として自転車を使った観光イベントを県が展開されようとしています。積極的に秋吉台を活用していただくための施設も含め、検討してまいります。

2 農業振興について

問 農業の現状について、どのような認識をお持ちでしょうか、お伺いします。

答 2015年、本市の農林業センサスによると販売農家数で21%減の2,229戸、経営耕地面積15.4%減の2,231ha、農業就業人口は26%減の1,953人です。農業者の平均年齢は71.1歳となっており、担い手不足は大変厳しい状況になっています。

農産物のコスト低減や園芸作物の導入等に取り組む、所得の増大を図り、安定的・持続的な経営が行えるよう支援する必要があると考えています。

問 後継者が育たない理由に農業所得の低さがあると思います。都市部における勤労者並の所得となるよう、経営面積、作物、補助金、営農に係る経費等、美祢モデルとして試算をし、どこに課題があるのか検討できないか、お伺いします。

答 農業所得向上を目指し、それを達成することは重要だと考えています。

現在、美祢市農業振興地域整備計画の策定を予定しており、国・県の事業を活用しながら、市としてどのような支援ができるか、関係機関、農業者の皆様のご意見も踏まえ検討してまいります。



(純政会)
やまなか よしこ
山中 佳子 議員

1 統廃合後の空き校舎の利用状況と今後の利活用について

問 統廃合された空き校舎の現時点での利活用状況についてお尋ねします。

答 旧鳳鳴小学校・旧田代小学校の校舎は、それぞれ地域コミュニティ活動の促進や地域文化等の振興・生涯学習の拠点施設として利用されています。

旧桃木小学校は、宇部総合支援学校美祢分教室となり県立学校施設として貸与しています。

問 現在、旧本郷小学校は「旧本郷小学校跡地利活用推進協議会」により管理されていますが、地元法人の指定管理も視野に入れ、広く利活用を進めていくお気持ちがあるかお尋ねします。

答 旧本郷小学校校舎は比較的新しく、その利活用について地元法人が管理・運営したいというご相談があった際には、協議・検討させていただきたいと思えます。

2 受動喫煙防止対策について

問 市税である、たばこ税の推移と市の施設における分煙環境整備についてお尋ねします。

答 過去5年間のたばこ税は、ほぼ1億7,000万円前後で推移しています。

市の施設では、原則、指定した喫煙場所以外での喫煙はできないことになっていますが、指定場所は屋外に灰皿を設置しただけで、受動喫煙防止対策が万全とは言えません。

今後、喫煙者と非喫煙者の双方が快適に使用できる施設づくりを検討してまいります。

3 産業用麻の栽培について

問 産業用麻は麻薬ではありません。一年草の循環型植物資源であり、衣・食・住を初め、エネルギーや医療・産業資材など多岐にわたり、多くの分野で化石燃料等の地下資源や森林資源の代替になると言われています。

また、成長時に吸収する二酸化炭素は落葉樹の3倍から7倍と言われており、低炭素社会の実現への貢献度も高く、まさにバイオマス資源の象徴と言えます。

特区申請をすることにより、産業用麻を本市で栽培することはできないでしょうか。

答 産業用麻の栽培については、大麻取締法第5条の規定により県知事の免許が必要となります。

現行の国の薬物政策のもと、特区計画が認定される可能性は低いと考えられます。

問 現在、農業従事者は高齢化し、少しでも体に負担がなく高収入をあげられる作物の栽培が求められています。

六次産業も見据えた次世代の農産物として取り組むことはできませんでしょうか。

答 産業用麻を農産物として栽培するには、販売価格、栽培管理の方法、出荷の形態等さまざまな条件を検討する必要があります。

まずは情報収集から努めていきたいと思えます。





(日本共産党)
三好 睦子 議員

1 国民健康保険制度改革について

問 国からの総額1,700億円の財政支援金が市町村に配分されました。本市には、いくら交付金が入ってどのように使われたのか、お尋ねします。

答 27年度に6,000万円が交付金として入り、被保険者の医療給付の費用に充てています。

問 国から交付された6,000万円と基金の2億5,000万円を、被保険者1人あたりに換算すると約3万9,000円になります。

また、財政安定化基金もあり、国保税を1人あたり1万円下げる原資は充分あると思います。

市民の命と暮らしを守るため、国保税の引き下げはできないか、お尋ねします。

答 基金については、保険税の引き下げの要因の一つともなり得ると考えていますが、財政安定化基金は、収納不足が生じた時に使う財源です。

問 美祢市の医療給付費は、県内でも上位ですが、健康を維持するために保健師の訪問指導を行うことで、医療費を抑えることができると考えます。

保健師増員のお考えがないか、お尋ねします。

答 第2次美祢市行政改革大綱により、職員の削減を図っています。したがって、保健師の増員は困難だと考えています。

問 国保税の賦課について、他の社会保険のように世帯人数に課せられる均等割の部分で18歳以下の子どもの分を減免している自治体が全国には多くあります。

本市において、この減免制度が創設できないか、お尋ねします。

答 現在、国も少子化対策に力を入れています。国の動向を注視しながら検討してまいります。

問 賦課方式の資産割は、収入を生まない資産に賦課されても、負担が重くなるばかりです。

資産割を廃止することはできないか、お尋ねします。

答 賦課方式の内容については、慎重に検討を重ねているところです。

2 美東ごぼう農家の担い手の確保について

問 全国的に有名ブランドとなった美東ごぼうについて、ごぼう農家の担い手・後継者育成のためにインターネットなどで募集等の対策をすることはいかがでしょうか、お尋ねします。

答 本市では平成27年度から市の単独事業として、「はじめてみ～ね農業応援事業」を実施しています。この事業の中には、現地研修に係る宿泊費を補助する現地研修事業補助金があり、こちらを積極的に活用していただきたいと考えています。

本事業については、今後もインターネット等を活用しながら、積極的に周知し、担い手の確保に努めたいと思います。

問 ごぼうは、4～5年周期でなければ作付できない作物で、広い畑地を必要とし、さらに、美東ごぼうは秋吉台の麓の周辺でなければ栽培できません。

例えば、美東町長登付近の市有林を使い、若い就農者に畑地を貸与することはできないでしょうか。

答 畑地を広げることについては、それぞれの土地の所有者と農家の方で協議していただきたいと思います。

また、市有林を活用することについては、具体的な場所と土質・土壌がわからないため、お答えすることができません。



(新政会)
えびす や あき ひこ
戒屋 昭彦 議員

1 危機管理システムとリスク抽出とその後の対策について

問 災害発生時、市民に確実に情報を周知できる方法について、お伺いします。

答 現在の周知方法については、告知放送、美祢市安心・安全メール、市ホームページ等によって行なっており、危険性が増したときは、市職員、消防団員等が直接現地で広報活動を行なっています。

また、民間団体が現在導入について検討されているコミュニティFMが開局されれば、災害情報の発信に活用したいと考えています。

問 高齢者、障がい者の方等への注意報・警報の周知方法について、お伺いします。

答 災害の危険性が高まったときは、民生委員、社会福祉協議会、その他関係機関と連携して周知を行ないます。

また、要援護者マニュアルに基づき確実に情報を伝える方法をとっています。

問 秋芳洞内での携帯電話による通信確保の検討状況について、お伺いします。

答 移動通信事業会社と通信エリア、施工方法について検討しています。

2 情報セキュリティと個人情報の管理について

問 パソコンネットワークとウィルス対策について、お伺いします。

答 本市が運用しているパソコンネットワークは、住民情報が記録されている住民情報系と予算の執行、文書管理、インターネット検索等を行う内部情報系があります。

住民情報系は外部から遮断されており、ウィルス対策も随時行っています。また、内部情報

系については、全国自治体の情報セキュリティ強化の整備に伴い、県内全市町のインターネット出入口が県に集約され、365日(24時間)有人監視により通信管理されています。

3 新市長の所信表明に対する取り組みについて

問 西岡市長の所信表明5つの柱を基に将来の美祢市をどのように考えていますか。

答 教育充実都市を目指すことにより、関連して地域経済、若い方の定住・移住に繋がっていくと思っています。

前市長の施策のよいところは引き継いで行い、公民館を中心とした地域コミュニティを創造していきたいと思っています。

問 教育充実都市として大学・専門学校の誘致について、お伺いします。

答 統廃合が進む小学校等の空き校舎などを利用して検討していきたいと思っていますが、具体的にはまだ、大学・専門学校の誘致について、その段階に至っていません。

問 西岡市長の市民目線について教えていただけますか。

答 今後は各公民館をコミュニティ形成の場として活用したいと考えています。本市は広いため、地域に根差した市民の悩みや課題を吸い上げていくことが市民目線の根底だと思います。

問 第三セクターの今後について、お考えをお伺いします。

答 第三セクターは指定管理期間中です。指定管理終了に合わせ一旦解散させて新しく統合し、経営のスリム化により総合的な運用会社をつくりたいと思っています。



委員会報告

教育経済委員会

(平成 28 年 9 月 20 日)

問 厚保地区の小学校統合後、東厚・川東小学校の児童の送迎はどのように行うのでしょうか。

答 スクールバスを2台購入し、送迎を行うことにしています。

問 世界ジオパークを目指すことについて、現執行部のお考えをお伺いします。

答 世界を目指すかどうかについて、市長は年内に議員や市民の方々にメッセージを発するとの意向です。

問 議会は本年1月に世界ジオパークを目指すための主要拠点施設整備について要望決議を行いました。現在の拠点施設整備に関する状況についてお教えてください。

答 拠点施設整備については、議会からも後押しをいただいているところであり、今後、ジオパーク拠点施設の整備等について、検討委員会を中心に協議を行いたいと考えています。

総務民生委員会

(平成 28 年 9 月 21 日)

問 美東簡易水道硬度低減化施設整備事業は、平成27年度で終了したのでしょうか。

答 平成28年度に水溜浄水場の電気設備、場内の配管等を整備し、年度末に完成します。

問 日常的な水道管破損等の修理を請け負う業者は何社ありますか。また、業者は平等に工事の受注機会がありますか。

答 美祢地区に5社、秋芳・美東地区に7社あります。緊急を要する漏水工事については当番制で、漏水が発生した時点で当番業者に修理工事をお願いしています。

布設替えや新規配管工事については、入札制

度により業者を決めています。

問 二つの市立病院の経営安定化・健全化が重要です。病院経営の今後の見通しについてお伺いいたします。

答 支出削減に向けた経営の安定化に努めてまいります。また、地域医療を支える体制整備として、医師の確保が重要であるため、医師の誘致や新専門医制度における研修期間を活用し、医師確保に努めてまいります。

問 美祢市立病院において訪問診療を実施されますが、医師不足の状況で、どのように実施されるのでしょうか。

答 訪問診療は、院長が外来診療を行なわない日を選定して、計画的に実施してまいります。

予算決算委員会

(平成 28 年 9 月 23 日)

問 B型肝炎の予防接種が10月から定期接種化され、費用が無料になりますが、どのような方が対象者となりますか。

答 本年4月1日以降に出生された0歳児が対象です。

問 危険家屋除却推進事業補助金の現時点での対象家屋は何軒ありますか。

答 危険家屋の調査、審査は所有者等の申請に基づき、今後市が行う予定であり、現在のところ軒数について把握していません

問 放置空き家の歯止め策として、もう少し幅広い事業に取り組むお考えはありますか。

答 空き家対策協議会において、空き家対策計画の策定、並びに実態調査を行います。また、空き家の適正管理については、所有者に啓発パンフレット等を送付するなど、取り組んでまいります。

問 介護ロボットは、都会の就労者不足に対応するため開発されたもので、本市には馴染まないと思っています。また、本市のCCRC

構想の大きな目的の一つである、お年寄りの就労機会の創出の観点からも逸脱していると思いますが、いかがでしょうか。

答 都市部の介護従事者不足を補うためのものである一方で、介護現場の人材確保は将来にわたる課題となっています。

このたびの介護ロボット導入については、本市C C R C構想から大きく乖離するものではないと考えています。

〈おことわり〉

委員会報告について、7月臨時会及び9月定例会決算審査、また9月定例会中に開催した政治倫理条例に関する特別委員会の内容は紙面の都合により、掲載いたしておりません。

議会報告会を開催します。

12月5日(月) 18:30～
赤郷ふれあいセンター

12月6日(火) 18:30～
伊佐公民館



平成28年第4回(12月)定例会は、右表のように予定しています。

市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

正式な日程は、11月22日(火)に開催予定の議会運営委員会で決定します。

日程	時間	内容(予定)
11月29日(火)	10:00	本会議(初日)
12月 1日(木)	10:00	本会議(一般質問)
12月 2日(金)	10:00	本会議(一般質問)
12月 5日(月)	9:30	教育経済委員会
12月 6日(火)	9:30	総務民生委員会
12月 7日(水)	9:30	予算決算委員会
12月 8日(木)	9:30	政治倫理条例に関する特別委員会
12月16日(金)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

MYTで美祢市議会中継を視聴されている方から、議会はもっと市政のことを真剣に討議してほしいなど、厳しいご意見を多数いただいています。執行機関とのチェックアンドバランスを保ちつつ、市民の利益を充分反映できる活発な議会となるよう議員一同、今まで以上に頑張っまいります。(三好)

議会だより編集委員会

委員長 山中 佳子
副委員長 戎屋 昭彦
委員 安富 法明
// 三好 睦子
// 岡山 隆
編集補助 杉山 武志
// 末永 義美